

# アースデイとやま 2026 実施計画

## ●アースデイとやまとは

「アースデイとやま」は、市民が集まり、企画運営してつくり上げてきた環境啓発行事です。1991年の第1回開催以来、今年で35年目を迎えます。30年以上の歴史の中では、来場者数が数千人規模の一大フェスティバルとなった時期もありましたが、コロナ禍ではオンライン開催となり、一昨年からは対面での開催を再開したところです。

アースデイとやま実行委員会は年ごとに、参加・出展する有志によって構成されます。自然との共生、地球環境に配慮した商品、食の安全、身体と心の健康、スローライフ、自然エネルギーへの転換、などをキーワードに、地球環境について考え行動するきっかけとなる日の実現を模索してきました。2018年からは、アースデイとやまが母体となって生まれた「環境市民プラットフォームとやま」(PECとやま)との連携のもとに「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)の普及啓発にも力を入れています。

## ●アースデイとやま 2026 の活動方針

### テーマ：問い直そう、大地と人のつながりを。

アースデイとやまを含む世界各地で行われているアースデイは、自然環境と人との関係をさまざまな形で問い直してきました。商工業を重視する社会に対する農林水産業の復権、農薬や化学肥料に過度に依存する農業に対する有機農業の実践、物質文明に埋没した都会生活から里山のような身近な自然に親しむ暮らしへの転換などがそれに当たります。

一方で、昨年のクマの大量出没や、近年のたび重なる自然災害や感染症の発生は、「自然環境の中には人間にとって都合の良い側面もある」という事実を改めて思い出させてくれる出来事でした。私たちがこれからも地球の上に末長く暮らしていくためには、心地よくありがたい面だけでなく、不都合で厳しい面もある、ありのままの自然と人の関係を問い直していく必要があります。今年のアースデイとやまでは、「**大地**」という言葉で代表される**地球上の自然環境全般と人との関係を、みんなで一緒に考え、問い直していきましょう。**

## 1. 名称

アースデイとやま 2026

## 2. 開催日時

日時： 2026年5月30日（土）10:00～16:00  
場所： 富山大学 五福キャンパス（学生会館とその周辺）

## 3. 事業規模・参加費

- ・当日スタッフ： 約10名+運営ボランティア20名程度
- ・来場者数（昨年実績）： ～500人
- ・参加費： 一般無料（出展／出店者については参加登録料が必要です）

#### 4. 主催・後援など

主催： アースデイとやま実行委員会

共催（予定）： 富山大学・富山大学生生活協同組合・環境市民プラットフォームとやま

後援（予定）： 富山県・富山市・富山県教育委員会・富山市教育委員会

富山県立大学・富山国際大学・富山短期大学・富山県生活協同組合連合会

（公財）とやま環境財団・とやまの森づくりサポートセンター・富山 YMCA

#### 5. 企画の概要

- ・地球環境や地域社会の持続可能性について考えるきっかけとして、映画上映・ワークショップなどを実施します。
- ・出展・出店会場では、地球環境や地域社会の持続可能性に関するアイデアを提供します。また、このテーマに沿った活動を県内で実施している自治体や学校などにも出展していただきます。
- ・より多くの方に楽しんで参加していただけるよう、ステージでは国際色豊かな音楽の演奏を行います。また、地産地消を意識し、有機農産物を使用した飲食ブースも設置します。
- ・アースデイ東京にも参加している高校生や大学生、富山大学の大学院生などを中心としたアースデイとやまユースのメンバーによる企画を実施します。

#### 6. 実行委員会

- ・実行委員長： 遠山和大（富山大学）
- ・副実行委員長： 堺勇人（環境市民プラットフォームとやま）
- ・事務局長： 横畑泰志（富山大学）
- ・会計： 橋本順子（土遊野）・笹倉千佳子
- ・会計監査： 中沖修一
- ・実行委員： 梅澤五月・大浦千和・九里匠音・酒井隆幸（バンブーセーブジアース）  
増貴史・水林慶子・安江健一（富山大学）・横山寛明

※ 五十音順; 2026年2月24日現在

#### 7. 連絡先

アースデイとやま 2026 実行委員長 遠山和大

〒930-8555 富山市五福 3190 富山大学 総合情報基盤センター

電話: 076-445-6953

E-Mail: [office@earthday-toyama.org](mailto:office@earthday-toyama.org)

##### Website



<https://earthday-toyama.org/>

##### Facebook

